

伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業

# ワークショップ 図書館のつくりかた みんなでつくる 新しい図書館

第2回 日本初『宿泊できる公共図書館』の概要と  
民間での先行事例

## 報告書

令和5年（2023年）2月

(株)伊賀市にぎわいパートナーズ

# 目次

---

## I ワークショップ開催概要

1. 開催目的	_____	2
2. 開催概要	_____	2
3. プログラム内容	_____	3

## II グループディスカッション結果

1. ワークショップについて	_____	9
2. ディスカッションで出た意見・アイデアについて	_____	9
3. 全体講評	_____	12

III 模造紙写真 [付録]	_____	14
----------------	-------	----

## Ⅰ ワークショップ開催概要

---

# 1. 開催目的

本業務は伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業の整備に向け、地域の人々や観光客による施設のにぎわい創出やユーザビリティ向上のため、多様な意見を集約し、施設の価値向上を高めることを目的とする。

また参加者の意見交換を通して、住民の相互理解を促進する機会とし、参加者からの意見等については、施設サービスの内容等を検討するための基礎資料として整理することも目的とする。

# 2. 開催概要

日時：令和5年2月26日（日）午後2時30分～4時

会場：ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

対象者：伊賀市在住・在勤・在学（児童・生徒）・近隣の市町村在住の方

定員：40名程度

（応募者多数の場合は年齢や地域等のバランスを考慮した上で抽選）

告知方法：チラシ、HP掲載、face book、文字放送、記者発表

申込方法：申込フォーム、FAX、図書館（室）カウンターへの提出

申込期限：令和5年1月22日（日）

参加者数：42名 内当日参加者38名

チラシ（表）

**ワークショップ** みんなでつくる新しい図書館

伊賀市では、地域の人々や観光客による「にぎわいづくり」を目標し、上野城下の「旧上野市庁舎」を、図書館を中心とした「にぎわいづくりの拠点」として再整備します。そこで、「関心・参加の喚起」となる交流型の図書館をどのように活用するのかが、伊賀市にお住まいの皆さん、伊賀市に通勤・通学している皆さんに、ご意見を伺い合っていたく「ワークショップ」を実施します。

地域の人々に親しまれ、読める施設となる伊賀市の新たな図書館づくりには皆さんがこのワークショップに、皆さん来てご参加ください！

● ワークショップ日程（全3回） ● 3回全てご参加いただくことも可能です。  
● 対象者：伊賀市在住・在勤・在学（児童・生徒）の方  
● 定員：40名程度 ● 申込締切：令和5年1月22日（日）午後5時必着

**開催概要**

① 令和5年 1月29日（日）午後2時30分～4時  
会場：旧上野市庁舎・地階  
「旧上野市庁舎」ってどんな建物？～建築家 坂倉三郎の功績とともに～

② 令和5年 2月26日（日）午後2時30分～4時  
会場：ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室・地階  
日本初「宿泊できる公共図書館」の概要と観覧での先行事例

③ 令和5年 3月26日（日）午後2時30分～4時  
会場：ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室・地階  
みんなでつくる新しい図書館  
～学び・創造・憩いの広場、交流型図書館として～

お申込み方法は裏面をご覧ください。 問合せ先：伊賀市上野図書館  
※ワークショップは、最多定員以降開催する予定です。その際は改めてご案内いたします。

チラシ（裏）

ワークショップお申込み方法は3種類！

① 右側のQRコードから申し込みフォームにアクセス  
URL: <https://ws.formzu.net/dist/S633305800/>

② 申込書をFAX  
FAX送信先：0595-21-8999(伊賀市上野図書館)

③ 申込書を「伊賀市上野図書館または各図書室」カウンターに提出  
伊賀市上野図書館 住所：三重県伊賀市上野丸之内40番地の5 電話：0595-21-6868

申込締切：令和5年1月22日（日）午後5時必着

申込書 FAX送信先：0595-21-8999（伊賀市上野図書館）

フリガナ	
氏名	
年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上
住所	伊賀市内に 通勤・通学
電話番号	※携帯電話など、日中に連絡がとれる番号をご記入ください。
メールアドレス	@
参加日	<input type="checkbox"/> 1日回 令和5年1月29日（日）午後2時30分～4時 <input type="checkbox"/> 2日回 令和5年2月26日（日）午後2時30分～4時 <input type="checkbox"/> 3日回 令和5年3月26日（日）午後2時30分～4時

※ご記載いただいた個人情報は、本ワークショップのみに使用し、他の用途では一切使用しません。  
※新型コロナウイルス感染症拡大などの状況により、オンライン開催となる場合があります。  
※応募者多数の場合は年齢や地域等のバランスを考慮した上で抽選となります。  
※結果通知の送付方法についてはメールでご案内いたします。メールアドレスをお持ちでない方には電話でご連絡いたします。  
※ワークショップの当日の様子（写真等）を伊賀市ホームページ等に掲載する場合があります。また、会場に報道関係者の取材が入る場合がありますことをあらかじめご了承ください。

参加者内訳

年齢	人数
10代～20代	6名
30代～40代	8名
50代～60代	13名
70代～80代	11名
合計	38名

### 3. プログラム内容

#### (1) 第2回 テーマ

日本初『宿泊できる公共図書館』の概要と民間での先行事例

#### (2) タイムスケジュール

14:00 開場・受付

14:30 挨拶、本日のスケジュール・第1回ワークショップ振り返り  
現在検討中の本施設概要説明・近年の図書館事例の紹介

15:00 講演「本と過ごす 箱根本箱の5年間とこれから」  
株式会社ひらく 代表取締役 染谷拓郎氏

15:30 グループディスカッション  
・シンキングタイム ① 図書館×ホテル ② 図書館×〇〇

16:15 全体講評

16:20 閉会



### (3) 第1回ワークショップ振り返り

「第1回ワークショップ報告書」をもとに第1回ワークショップの総括を実施。

### (4) 現在検討中の本施設概要説明

本施設が「すべての市民が集い、訪れる人すべてに対してのこの街の顔」となるために提案の前提となる考え方を共有し、国内外における図書館の先進事例を紹介。その後、現在検討中の本施設のB1～2F平面図をもとに各階の概要（想定）について説明。

- 主な3つの機能を縦割りにするのではなく区別されながらも融合する形
- 1階にメインの図書館部分を配置、2階に図書館と観光、3階に宿泊施設と本を設置し、1階から3階までグラデーションをかけることで、全体を図書館としながらソフト面の充実につなげていく。
- 図書館と宿泊施設の複合は国内でも初めての取組み。どのように具現化していくかについては今後適切に考えていく必要があるが、本来の図書館機能を損なうことがないように、調整しながら進めていくことになる。

#### [概要説明に対する参加者からのご意見]

- 3階ホテルのフロアに学習室があるのは、子どもの安全確保の観点から見直して欲しいとの要望があった。
- 児童図書コーナー及び書庫の位置は過去に浸水の事例があると懸念の声があった。

### (5) 近年の図書館事例の紹介

国内の近年の図書館事例をもとに、図書館は本来の機能に加えてさまざまな活用方法があることを紹介。

### (6) 講演「本と過ごす 箱根本箱の5年間とこれから」

株式会社ひらく 代表取締役 染谷拓郎氏

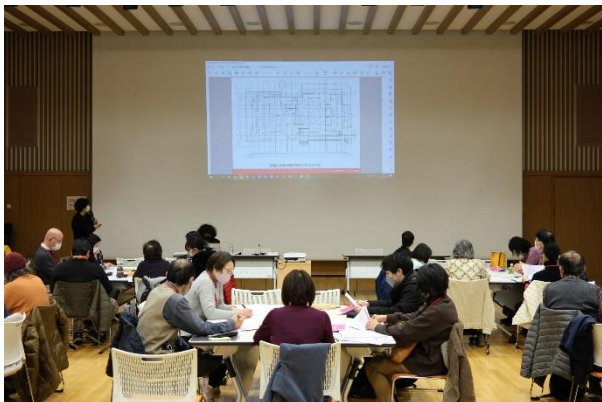
本とホテルが融合した「箱根本箱」の事例をもとに、本との過ごし方、出会い方、良い時間と場所をつくることをテーマに講演。また本施設についても、施設の内外で「どのようなことができるか」その可能性について考え方を紹介。



第1回ワークショップ振り返り



国内外の先進事例の紹介



現在検討中の本施設概要説明



近年の図書館事例の紹介



事例紹介スライド



講演「本と過ごす 箱根本箱の5年間とこれから」



染谷 拓郎氏



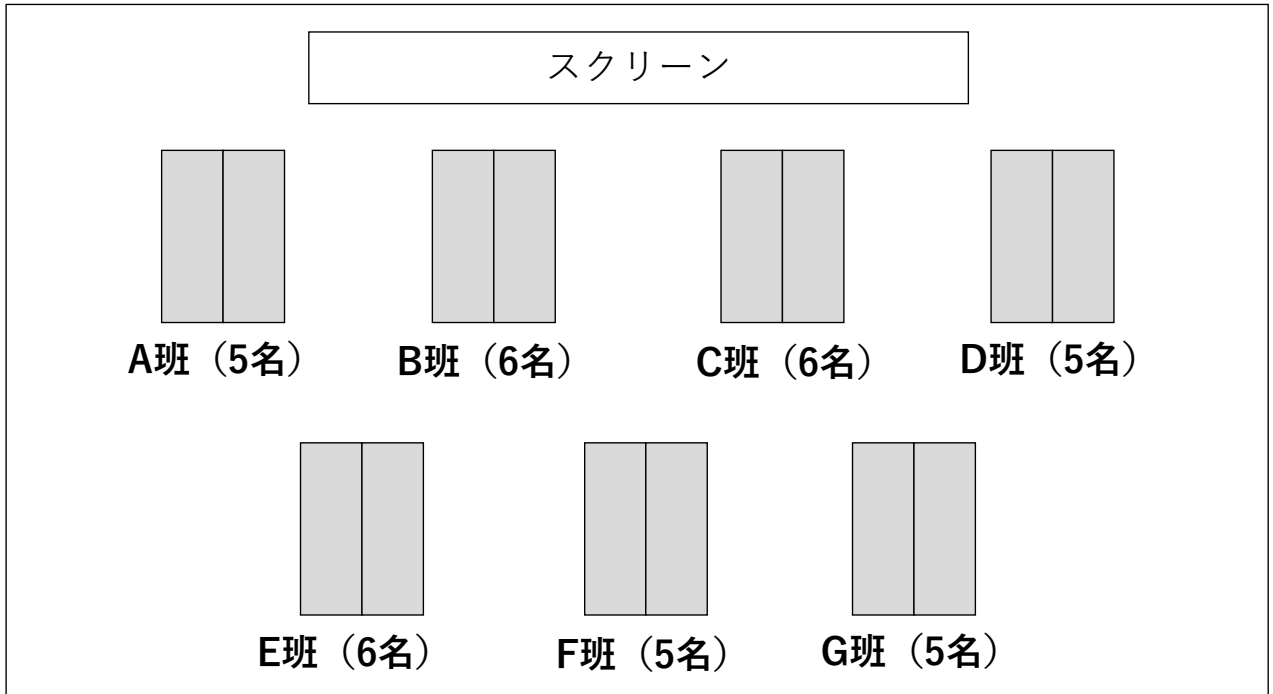
会場・参加者の様子

## (7) グループディスカッション

講演後、「図書館×ホテル」「図書館×〇〇（各自自由に設定可）」をテーマに「新しい図書館で何が出来るか」についてグループディスカッションを実施した。

### 開催体制

1グループあたり、5、6名程度、合計7グループに分けて実施。メンバー構成は、年齢や性別が偏らないように受付時に座席を指定した。会場レイアウトは下記参照。

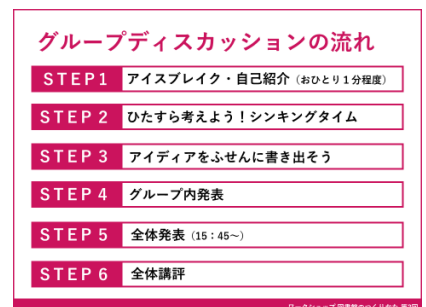
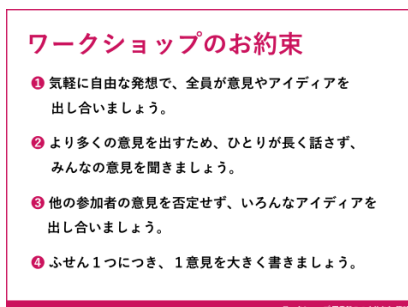
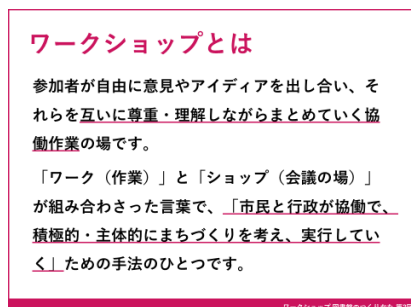
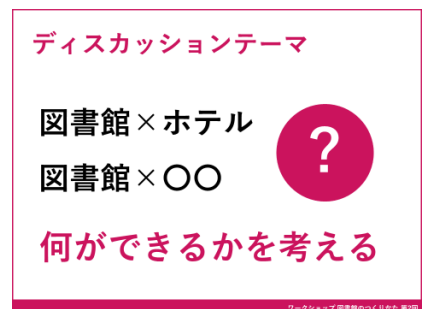


### 各グループにファシリテーターを配置

ファシリテーターを配置し、ワークショップの流れやルールについて説明を行った。



ワークショップのルールを説明





## (8) グループディスカッションの流れ・様子

グループディスカッションはSTEP 1～STEP 6の構成をもとに進行した。

STEP 1：アイスブレイク（自己紹介）

STEP 2：シンキングタイム

STEP 3：アイデアをふせんに書き出す

STEP 4：グループ内発表

STEP 5：全体発表

STEP 6：全体講評（講演者 染谷拓郎氏）

### グループディスカッションの流れ

<p><b>STEP 1 アイスブレイク!</b></p> <p>まずは簡単な自己紹介から始めます。 初対面同士でも大丈夫。 気持ちをほぐしリラックスして ワークショップにご参加ください。</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>	<p><b>STEP 2</b> <small>ひたすら考えよう!</small> <b>シンキングタイム</b></p> <p>図書館事例とゲストの講話をふまえ 「図書館×ホテル」「図書館×〇〇」 をテーマにグループのメンバーで 「こんなことができたらおもしろい」 を自由に対話し考えます。</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>	<p><b>STEP 3</b> <b>アイデアを ふせんに書き出そう</b></p> <p>伊賀市民が選んだ おすすめの本を 展示したい!</p> <p>アイデアをふせんに書き出し それぞれのスペースに貼っていきます。</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>
<p><b>STEP 4 グループ内発表</b></p> <p>自分のふせんの内容について発表します。 →グループ内で議論・対話へ</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>	<p><b>STEP 5 全体発表</b></p> <p>それぞれの意見が出そろったら 発表者を決めて全体発表へ</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>	<p><b>STEP 6 全体講評</b></p> <p>グループ発表後 ゲストの染谷さんに 講評をいただきます。</p> <p>染谷 拓郎氏 (株式会社ひらく代表取締役)</p> <p><small>ワークショップ 図書館のつくりかた 第1回</small></p>

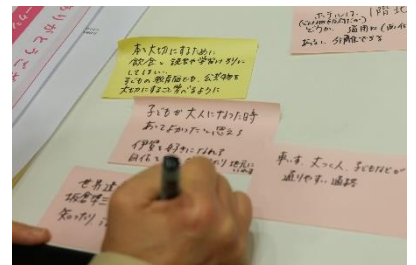
### ディスカッションの様子



STEP 1 アイスブレイク



STEP 2 シンキングタイム



STEP 3 アイディアをふせんに記入



STEP 4 グループ内発表



STEP 5 全体発表



STEP 6 全体講評

## II グループディスカッション結果

---

# 1. ワークショップについて

---

本ワークショップでは、幅広い年齢層の方が参加され、「図書館×ホテル」「図書館×〇〇」をテーマに、新しい図書館への意見やアイデアを出し合った。対話を通してより具体的に問題意識や課題も含め共有することができたのではないかと考えられる。

## 2. ディスカッションで出た意見・アイデア

---

### (1) A班

「図書館×ホテル」についてはコンセプトが理解できない。安全性も懸念。3階の図書館の部分をもっと大きくして欲しい、といった意見がでたほか、水害、水没により文化財が被害をうけることを心配する声もあり。

（「図書館×〇〇」については）子どもたちが寝転んで本が読めたり、フロアのすみわけをしていただきたい。伊賀の広い土地の中で、図書館に行きたくでも行けない人が、デジタルを使えるのかどうかなど、どのように対応していくのかなど。市民ファースト、市民のための目線が分かりづらいため、もっと色々な説明をして欲しいという意見が出た。



### (2) B班

ホテルに対して肯定的な意見が出ず、反対意見だけを述べる形になった。安全面の問題、災害を心配する声が多く出た。図書館とその他の掛け合わせについては、肯定的な意見が出た。伊賀の忍者や陶芸などを絡めていったらいいのではという意見のほか、共通意見として空間、音楽、学び、体験などの「癒し」を求める

意見が多く出た。ここから話す内容は施設全体に向けてのものとなっているが、図書館の児童書架から子どもを連れてトイレに行くときに階段があって困るのではないかと、という意見が出たことをふまえ考えると、身体障害者の方に開かれている施設をつくることで、誰もが利用できる、誰もが使いやすい施設となってほしい。



### (3) C班

意見を大きく3点にまとめた。

1点目は、図書館で過ごす可処分時間を増やしていくこと。長い時間を図書館で過ごしたい。その時間の中で、食べたり飲んだりできる接点がカフェ以外の場所にも必要なのではないか。普段自分が好きなアクティビティができる場所であってほしいという意見。本と好きなアクティビティがつながっている接点があると嬉しいという意見があった。



2点目は、外から来る人のためのコンテンツが伊賀にはとても少ないという意見。伊賀を新しく発見できるコンテンツが見つからなくて残念、ビジネスホテルやハイエンドホテルはあるが、気軽に泊まれるホテルがないから友達も呼べない。外から来る人にお金を落としてもらわないと伊賀の経済は成り立たないのではないかと。

最後は、工芸品などにふれてもらう機会をつくっていく。それは図書館でもホテルでもできること。ホテルであれば、伊賀のアメニティを使ってもらったり、伊賀の作家さんの本にふれてもらう機会をつくっていくなど。

### (4) D班

「ひとりになりたいときに過ごせる場所があると良い」部分、あるいは子ども、シニアがそれぞれ分かりやすい図書館であったり、安全に開かれた場所であってほしい。図面を拝見しているが、もっと広く開かれた床スペースがある図書館になってほしい。運営については、市民の声、伊賀のことを良く知っている、伊賀を大切に思う図書館にして欲しい。



こども、市民ファーストをメインにして欲しい。

人と人がつながる部分について、個人が好きなものを発信して、共有したいものを置けるスペースをつくって欲しい。伊賀の魅力の発信については、伊賀市の財産を紹介するスペースを広くとって欲しい。

文化芸術産業で活躍する有名な人を紹介できれば。

アクセスが問題。伊賀鉄道に本を置いて、25分間電車で揺られながら（足を運ぶ）そんな機会もあればいいのではないかと。

## (5) E班

子どもは伊賀市の宝。子どもファーストで「図書館×〇〇」を「図書館×子ども」とした。

学習室は色々と課題山積。近くに学校があるが、学校図書館と連携はするのか。ぜひ連携して欲しい。レファレンス機能も充実させ、観光に使って欲しい。

電子書籍も使い方が分からない高齢者も使えるように教えて欲しい、観光業者さんが参入できるようにGIS、

オープンデータ化して欲しい、ワーケーションで伊賀を使ってもらえるようにして欲しいという要望がでた。



## (6) F班

「図書館×ホテル」については、観光客から見た「泊まる」意味だけでなく、「泊まらない」人にとっても、非日常になったら良いのではないかという意見がでた。伊賀で見つかったものでも他の場所に保管されているものもあると聞いたので、そのようなものを展示する場所があってもいいのではないか。子どもが育つ中で新しいものにふれていく場所

にしたらいいのではないか。分からないことでも地域の人に色々教えてもらって、新しいアイデアとして自分の夢を拡げていくのもいいのでは。また、VRで仕事体験ができたり、働く人のインタビューを見て、興味を持ったら本で調べる場所があると新しいのではないか。



## (7) G班

「伊賀らしさで人を呼ぶ」伊賀焼などの体験ワークショップを開く、伊賀の文化人の展示コーナー、ここに来なければ見られない場所をつくる。「モノを作る」という観点で日本一の和傘をディスプレイするなど「魅力をつくる」という意見が出た。伊賀市の中心から離れた施設との連携についても考えていけないといけない。観光産業文化教育の連携で「ここに来れば情報を得て他の施設に行こう」という場所になったらいいという意見が出た。



### 3. 全体講評

---

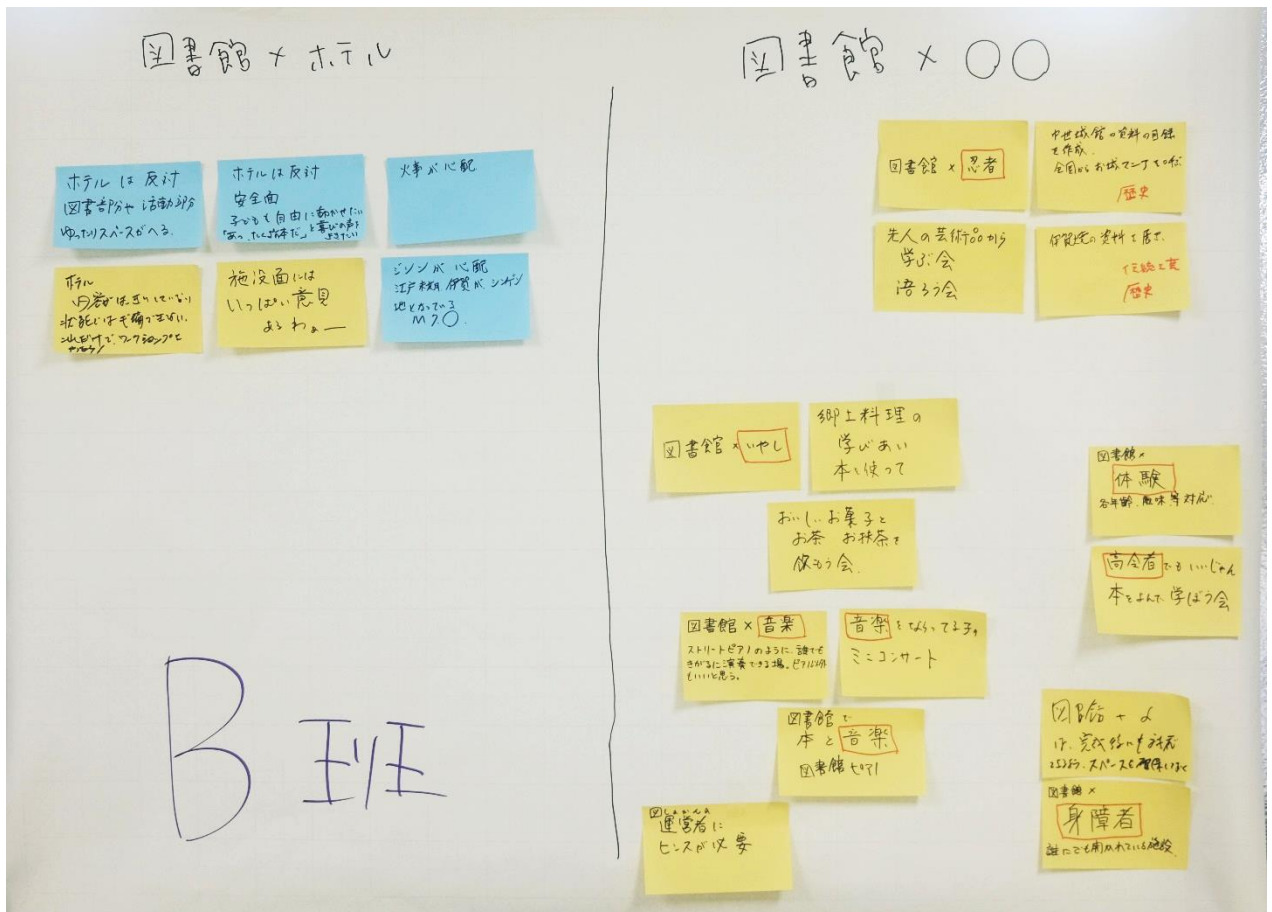
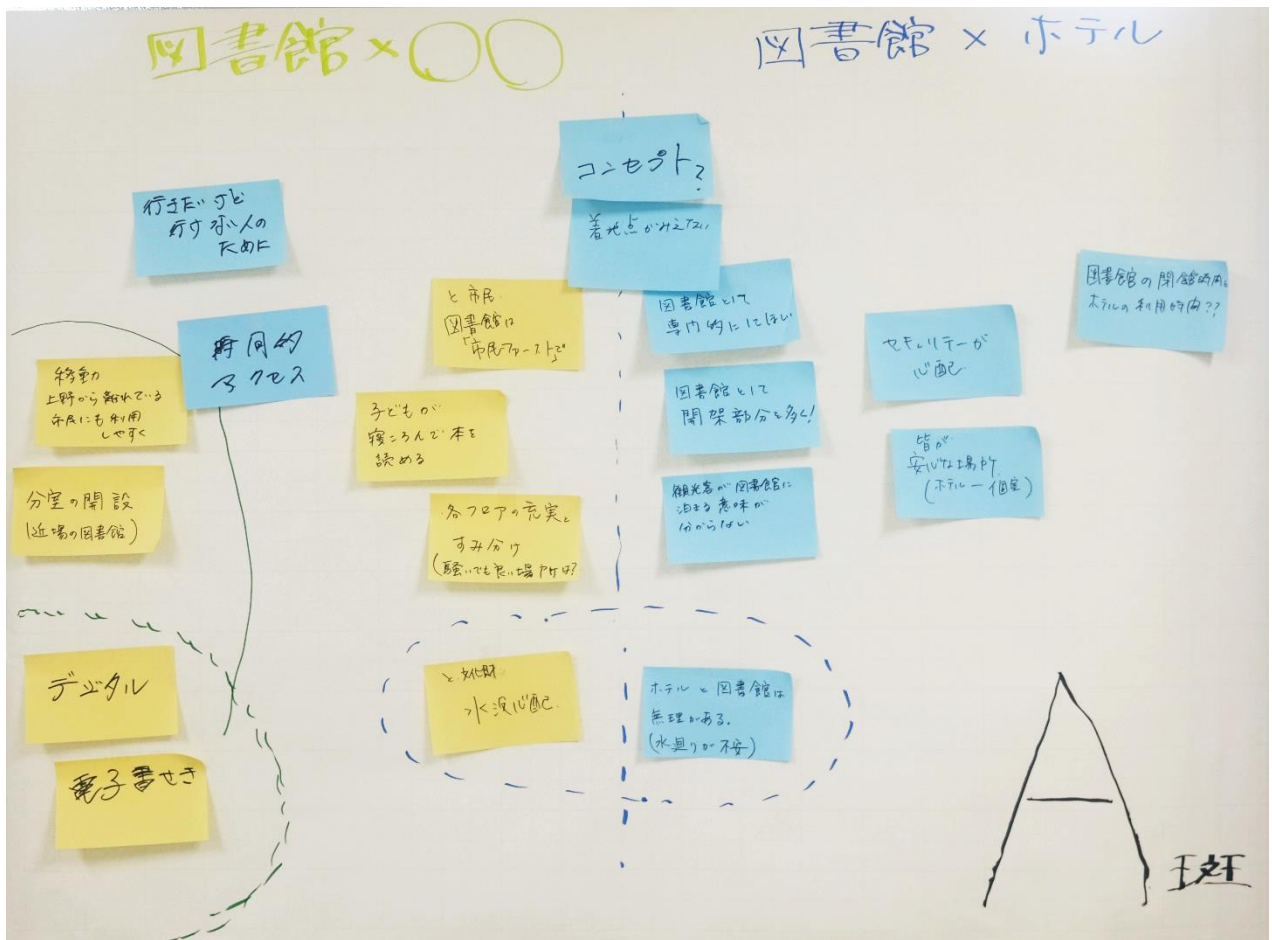
全体発表後、講演者の染谷拓郎氏に全体講評をいただいた。



- たくさんの意見が出て驚いている。図書館に対して期待や色々な想いを持たれて参加されていることを知って心強く感じた。
- 意見の共通点として「伊賀らしさ」をどうやって出していくかについてみなさんすごく大切にされていると感じた。
- C班で出た文化の地産地消「伊賀で生まれた文化を大切にする」それをみんながそこで体験することができるというのは参考になる意見。
- E班の発表のとおり子どもの利用についても、子どもにとって良い場所になれば、それは大人にとっても良い場所。観光の方にも交わって使ってもらえるという視点には納得。
- 建物だけで完結するのではなく、色々なところと連携したほうが良いというのも共通意見。全部の意見を盛り込みすぎるのではなく、「連携」を中心にする切り口になると、よりこの場所が面白くなるのではないか。

### III 模造紙写真 [付録]

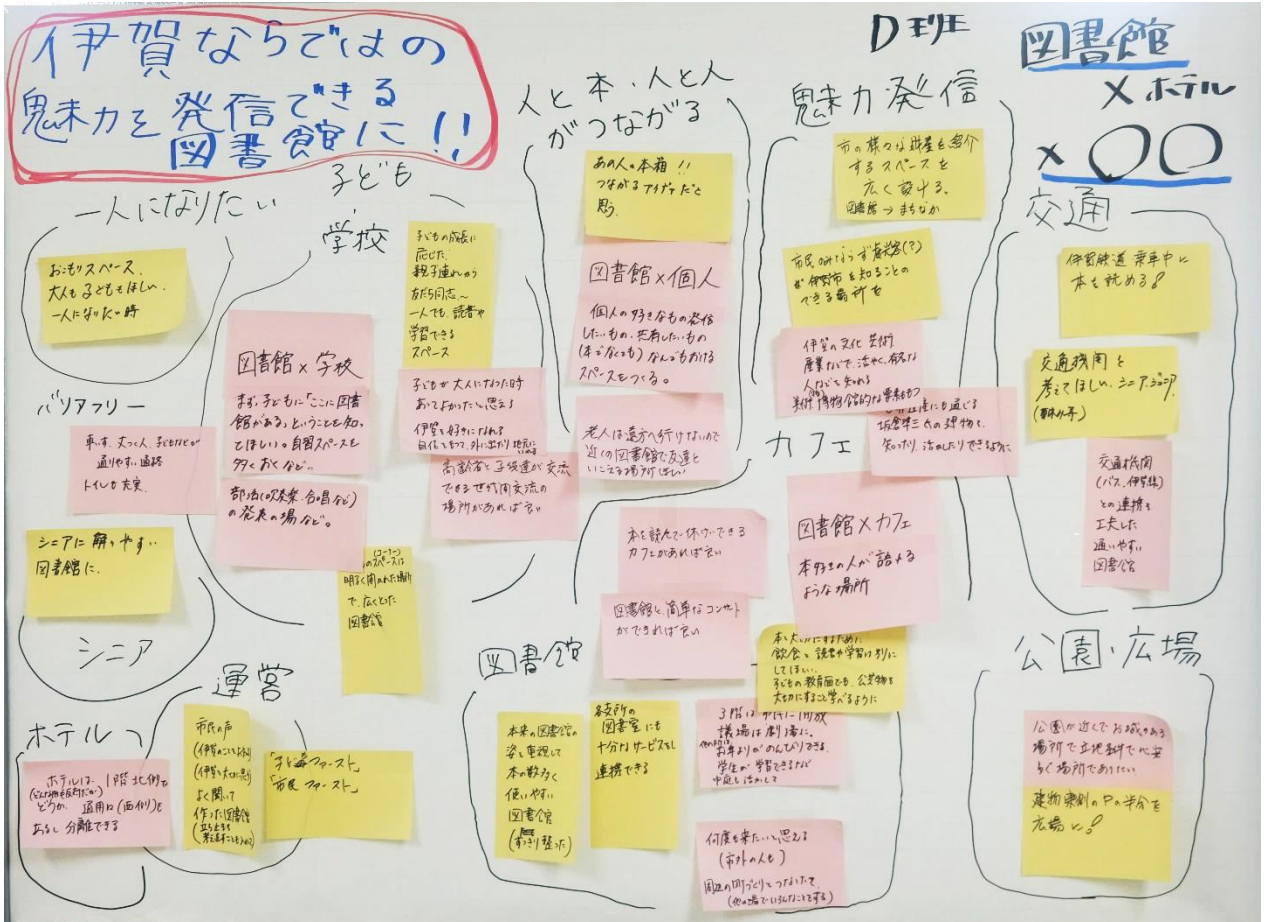
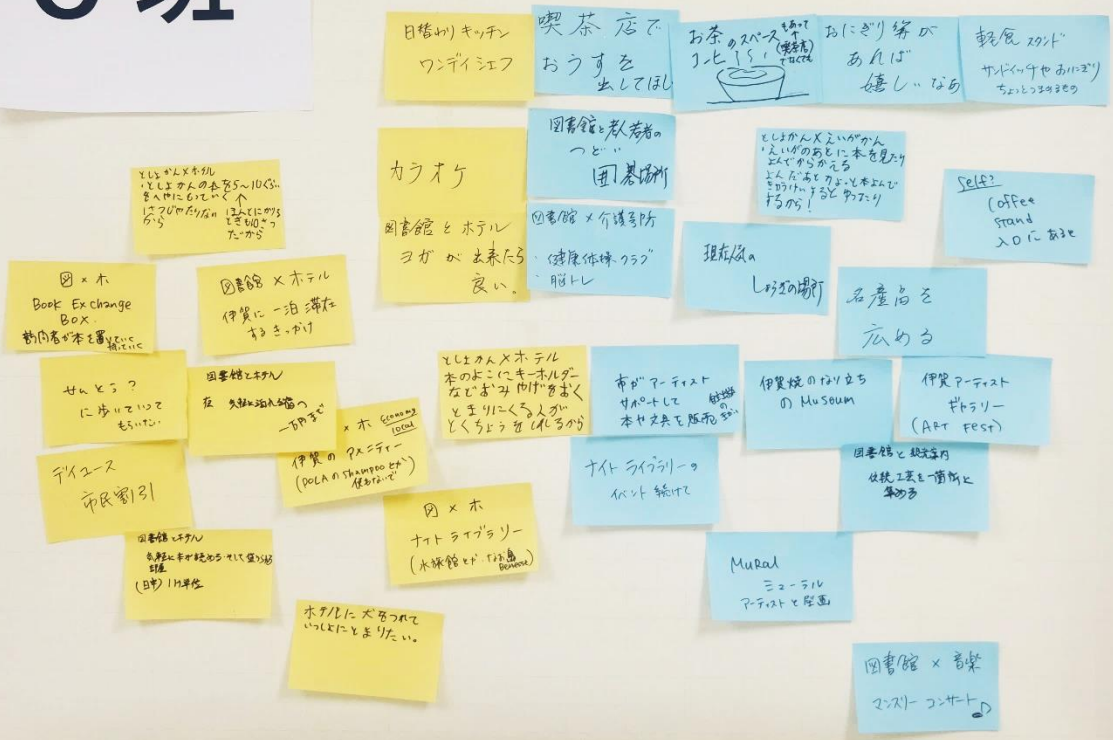
---





# C班

## 図書館 × 〇〇





# G 班

伊賀SLS

×人が見に来る  
伊賀のシンボル  
を作る  
“情報”だけでなく  
“体験”を提供!

能舞台を作る!

伊賀は  
文化人が育つ  
環境!

映画館 ← 学習スペース

伊賀の偉人  
文化・伝統・歴史の  
紹介展示 - 企画  
展示

半地下の図書館  
を逆PR打

こたご  
(伊賀 忍者 俳句)  
の本当の世界 -  
探る

× 図書館  
コメントで明瞭に  
伊賀の現状と活かし(作る)

~~伊賀の~~  
伝統工芸  
ワークショップ

× ホテル  
客層を確かめものに  
すると安全対策に打ち  
出すので、  
事前に高まる

× ホテル  
横光利一コーナーという  
企画、  
ワークショップに入りたい

× ホテル  
伝統産業ワークショップ  
というワークショップ

× さるびの  
ここでさるびのに入る  
ということが売りにすると  
いい

24時間 (特設スペース)  
図書館 (伊賀)  
の企画 (2021)  
(伊賀) 展示

## 機能連携

伊賀市内の人に  
宿泊を希望と配る!

× ホテル  
観光、産業、文化、  
教育の代表者が連携の  
話し合いはいい

伊賀の全地域への  
つながり機能

宿泊機能は  
忍者体験施設  
に集約  
100%  
と計画

↑ 連携が大事!  
“ 拠点 ” とする図書館

伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業  
ワークショップ 図書館のつくりかた みんなでつくる 新しい図書館 報告書  
第2回 日本初『宿泊できる公共図書館』の概要と民間での先行事例  
令和5年（2023年）3月発行 / 編集（株）伊賀市にぎわいパートナーズ